

10月に入り、朝晩が涼しい日も増え中間服の生徒が多くなってきました。しかし日中はまだまだ暑く体温調節が難しいですね。体調不良で保健室を来室する生徒も増えています。自分の体の変化に意識を向け、体調を崩さないように対策をとりましょう。10月10日は目の愛護デーです。10月は目に関することとして、こんなテーマにしてみました。

～駅やバス乗り場など視覚障害のある人が困っています。あなたならどうしますか？～

本校は電車やバス・市電を利用する生徒も多くいますね。一般の方から「情報高校生から手をかしていただき感謝しています。」という連絡を受けることがあります。そのことを聞く度に、とても素敵な行動だなと思っていました。そんな心優しいみなさんは上記の場面に遭遇した時、どのように行動しますか？以前、視覚障害のある方から道で困っている時の声のかけ方や誘導の方法について話を聞きましたので、みなさんの役に立ったらいいなと思い紹介します。

駅などで視覚障害のある人を誘導する方法

(1) あいさつ

「何かお困りですか?」「何かお手伝いしましょうか?」とあなたから先に声をかけましょう。顔が見えない場合、声だけで誰かを判断することは難しく、自分に声をかけられているのかわかりません。聞き取りやすいようにゆっくり・ハッキリと声掛けをすること、肩を軽くたたくなどして話しかけている方向を示し、自分の存在を知らせましょう。

Point! 急に肩を叩かれたりするとびっくりします。まずは声をかけてから、気付いていないようであれば、肩を軽くたたくなどしてみましょう。

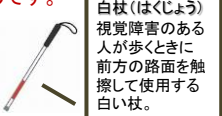
(2) 視覚障害者の半歩前に立ち、肘の上を握ってもらう

慣れている視覚障害のある方であれば半歩前に立つことで、肘の上(身長差がある時は肩)を持ってくれる方が多いと思います。半歩前を歩くことで安心して視覚障害のある方が歩くことができます。

Point! 白杖に触れたり、衣服や手を引っ張ったりしないようにしましょう。実際に白杖を引っ張られたり、ベルトやかばんの紐を引っ張られ怖い思いをしたことがあるそうです。

(3) 立ち位置

なるべく白杖を持っていない側に立って下さい。ただし、道が狭いや安全ではないところの場合には話をして、立ち位置を決めて下さい。



(4) 歩き方

誘導する人は腕の力を抜き、歩くときにはなるべく手は振らずに脇から離れないようにして歩いて下さい。**視覚障害のある方のペースに合わせるように歩いて下さい。**肘を強く握られたり、引っ張られたりした場合には歩くのが早いので、少しペースを落として下さい。

信号

青に変わっているのに気付いていない様子なら声をかけましょう。多くの信号機に音響信号が設置されていません。
*音響信号…信号が青になったことを知らせる誘導音がついた信号



バス停

バスの到着や行先を伝えよう。多くのバスは行先案内をするようになりましたが、聞こえにくいことがあります。

階段

階段の手前では、「階段です。上り(下り)です。」と合図しましょう。上り(下り)終わったら、「終わり」の合図も忘れずにしましょう。

方向を示すとき

「そっち、こっち」などの指示語を使わずに、右や左、前・後ろという言葉を使ってください。また、位置の示し方については、「〇時の方向に…があります。」など、時計の文字盤を例に使うと分かりやすいです。

Point! 周りの様子を言葉で伝えましょう。

雨で路面がぬれずべりやすい状態であることや、階段を上るとき頭元にある看板等に当たりそうな場合は具体的な言葉にして伝えてみましょう。普段、私たちは周りの状況を確認するときに視力に頼っていますが、その視力が無い場合、得られる情報が少なくなります。そのことを想像し、何を伝えれば歩くのに困らないかと考え、声掛けしていきましょう。

(5) 最後にあいさつ

話をした後やお手伝いした後で別れるときは「それでは、さようなら。」など、離れることを知らせるようにしましょう。

Point! 黙って立ち去らないようにしましょう。まだあなたが近くにいると思って話かけ続けることがあります。

声をかけることに勇気がいると思ったあなたには。。

日常でできることを紹介します♪

点字ブロック「視覚障害者誘導用ブロック」を知っていますか？点字ブロックがあることで、視覚障害のある人は安心して歩道を歩けます。しかし、点字ブロックの上に自転車や荷物が置かれていると視覚障害のある人は、道路を安心して歩けない、白杖が折れる、怪我をする、荷物にぶつかって転倒することがあります。もし、点字ブロックの上に物があるときは、それらを移動させましょう。手助けの方法はさまざまです。この行動も手助けのひとつになりますね。



注意 インフルエンザ流行の兆しあり!! 注意

最近インフルエンザのニュースをよく聞きますね。10月という早い時期ではありますが、流行の兆しがあります。全国的にみても、沖縄県、鹿児島県、佐賀県、大分県、石川県の順で罹患が多く、**鹿児島は全国で2番目に多く発生しています。**各病院でのインフルエンザの予防接種開始は10月からです。意識してインフルエンザの情報入手し、予防に努めていきましょう。

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の累計(令和元年9月～)

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
休校	1	0	1	0	0	0	2
学年閉鎖	0	0	1	0	0	2	3
学級閉鎖	0	1	4	1	0	0	6
合計	1	1	6	1	0	2	11

*同じ学校で、学級閉鎖と学年閉鎖が同時にあった場合は、学年閉鎖に計上します。

令和1年10月4日 発表

左の表は鹿児島市の状況です。参考までに見てみてくださいね。

